

Q. オオカミのはく<sup>せい</sup>製のとなりにいたのは仔<sup>こうま</sup>馬でしょうか？

A. カカバのこどものはく<sup>せい</sup>製です。このカカバは京都市動物園<sup>きょうとしどうぶつえん</sup>で1986～1988年<sup>ねん</sup>まで生きていました。

カカバはウマの仲間<sup>なかま</sup>で、漢字では「果<sup>かんじ</sup>下<sup>か</sup>馬<sup>か</sup>」と書きます。乗<sup>じょうば</sup>馬<sup>ば</sup>したまま果樹<sup>かじゅ</sup>の下<sup>した</sup>を通<sup>とお</sup>れるくらいの体<sup>からだ</sup>の大き<sup>おお</sup>さであることから、このような名前<sup>なまえ</sup>が付<sup>つ</sup>いています。

